



松任高生 感謝の寄せ書き

松任高の生徒有志は22日までに、昨年10月の文化祭で模擬店の助っ人を買って出た地元のみっとうまちなか商店街に感謝の寄せ書きを贈った。コロナ禍で厳しい経営環境にある加盟店を励ます言葉がつけられ、店主らは商店街の活性化へ思いを新たにしている。

松任高では昨年、文化祭の人気イベントである模擬店を縮小し、生徒による食材の調理を自粛した。商店街は学校から相談を受け、和菓子店や焼き肉店を紹介して模擬店の実施を助けた。寄せ書きには「高校生活最後の文化祭で、地域の皆さんと思い出を作ることができて

まっとうまちなか商店街に

よかった」「お店の営業が大変な時期だと思いますが頑張ってください」などの言葉が寄せられた。

商店街では事務所の掲示板にメッセージを貼り出している。まっとうまちなか協同組合の乙村貴正理事長は「地元商店街の魅力を知ってもらえる機会となった。これからも地域と協力していきたい」と話した。

松任高生から贈られた寄せ書き＝白山市中町